

# 崇広中だより TEAM SUKO 2025



No.07 2025.10月号

発行者 崇広中学校長

## 体育祭！クラスカラーのはちまちで、それぞれの活躍

9月30日（火）の文化祭で各種発表に続き10月24日（金）、秋晴れにめぐまれ、体育祭を無事開催することができました。種目は、学年毎の「大縄跳び」「全員リレー」「綱引き」「玉入れ」の4種目と、3年生の「南中 ソーラン」です。スポーツが大好きで突き破るパワーを出した人。「運動はちょっと…」と思いつながら自分の殻を突き破るパワーを出した人。競技はもちろんですが、声をかけ合い、笑顔で拍手を送り、ガッツポーズや円陣、悔しい表情も…。まさに「それぞれの役割でさまざまな場面で」活躍がありました。崇広中 生徒会の団結力を見せてもらいました。この経験、これから学校生活にプラスの力につながることを願っています。



なんちゅう 南中ソーランは、本校の伝統の一つになっています。  
3年生も気合いの入った庄重の演技・パワー、そして大きな声は、今後、  
1, 2年生に必ず引き継がれてていきます。



裏面あり

## 1. 2年生で薬物乱用防止教室 「他人事から自分事へ」

三重県警察署及び伊賀警察署、弁護士の方々の協力を得て、10月17日（金）1.2年生を対象に「薬物乱用防止教室」を実施しました。

麻薬や覚醒剤の使用（所持も）が非合法であることはもちろんですが、中毒性が強いため、軽い気持ちでの使用が、その後の人生に大きなマイナスの影響を与えてします。講師の方からは事例をイラストや図を使って、とてもわかりやすいお話をいただきました。誘われたとき断るロールプレイをしながら「僕たちは命に向かって頑張らなければならないので、こんな寄り道はしてはいけない」という感想もありました。



 崇広中学校では、これまで「交通安全教室」や「ネットモラル教室」などを実施していました。今後も「いのちのはぐくみ教室」（11/14に2年生で）「救急救命教室」（体育の授業に2年生で）などの学習を行う予定です。教科の学習とともに、社会に出た後にも必要となる「生きる力」を育む学習を進めていきます。また、各学年で人権学習（山なみ学習）を進めています。「自分を大切に、自分と同じくらい周りを大切にする生き方」「すべての人が生きやすい社会」をめざし、考えを深めています。

## 3年生で人権学習（山なみ学習）「人権の基礎基本」

10月14日（火）に公益財団法人反差別・人権研究所みえ常務理事兼任事務局長の松村元樹さんをお迎えし「人権の基礎基本～無関心でいられても無関係でいられない人権問題～」をテーマにお話を聴かせていただきました。「正しいことを知らないと、誰もが偏見等をもたれる社会にあるなかで、無意識に誰かを傷つけてしまったり、結果として差別を支えてしまうことがあるかもしれない」等、実例を交え考え方、自分の生活を振り返りました。生徒からも「ほんの一部しか見ていないのに『あれがどう』『これがどう』と言うのは違うと思う。多数派の側にいると確かに気づきにくいことがある。今後も考え続けることで色々な視点をもちたい」「多数派にいると少数派の意見に気づけないことが多い。みんな無関係ではないので、学習したり行動することが大切だと思う」などの意見もあり、卒業後の生活や人間関係づくりに生かせる学びの機会となりました。



11月8日（土）『崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタ』が「差別を許さない人と人のつながりをめざして」をテーマに開催。子どもと保護者、地域住民、地域諸団体が一堂に会します。

生徒実行委員・生徒ボランティア、吹奏楽部、3年生南中ソーラン有志の活動とともに、PTAではあげぱんを販売していただきます。ぜひご参加ください！

